

教科	国語	科目	国語総合	単位数	3	学年・コース	1年 総合, 体育
教科書	『新編国語総合』東京書籍			担当者	岩崎真吾・藤島淳・飯島幸雄 和崎祐美子・門倉高之		
概要・ねらい	文章の的確な読解を通して、客観的に理解・認識する力、主体的に思考・判断する力を養う。 文学作品を通し、日本語の美しさや表現の豊かさを味わい、自分自身や他の世界に対する感受性や想像力を育む。 現代において求められる多様な言語能力を養うため、自身の考えを効果的に伝える表現力・コミュニケーション力を高める。						
年間授業計画	一学期	配当時間	学習内容		評価基準		
		6	《現代文》 『海流 ミクロネシア』石川直樹	航海者たちの能力について読み取っている。 「海流」と「潮流」の違いを理解している。 モーターボートの利用が及ぼす影響について読み取っている。 筆者の考えの要点を理解している。 筆者の考えについて関心を持ち、意見交流をして考えを深めている。			
		3	《古文》 古文に親しむ 『児のそら寝』（宇治拾遺物語）	歴史的仮名遣いを意識しつつ音読している。 気に入った作品の暗唱ができています。 歴史的仮名遣いについて理解している。 作品を読み、話のおもしろさを理解している。 古語の意味を理解している。			
		4	《現代文》 『とんかつ』三浦哲郎	登場人物や場面に注意して、三つの段の構成と展開、役割をつかんでいる。 客の親子の人物像を想像し、境遇についてまとめている。 女主人の、客の親子に対する印象の変化をまとめている。 「とんかつ」をめぐる、登場人物の心情を理解している。 一年後の少年の変化を読み取っている。			
		4	《古文》 『うつくしきもの』（枕草子）	『枕草子』および作者について、概略を理解している。 作者の感性を、文章中の具体例によって理解している。 『枕草子』の内容の三分類について、おおよそを理解している。 古文の表現に慣れて、文や文章の組み立て、語句の意味や用法を理解している。			
					〈中間考査〉		
	二学期	7	《現代文》 小説『羅生門』芥川龍之介	教材に興味を持って接し、小説の舞台を的確に読み取っている。 内容に即して段落を分けている。 「羅生門」の基本的な情報を得て、どのような空間かを読み取っている。 「下人」の悩みを理解し、行動・心理がどう変化したかをまとめている。 比喩表現について、的確に把握している。			
		3	《漢文》 漢文入門「訓読の基本」 唐詩『春暁』『春夜喜雨』	漢文や、訓読の性質、漢文の基本的な構造について理解している。 返り点の付け方、用法について理解している。 訓点に従って漢文を正確に読んでいる。 用法を理解して、正確に読み、書き下し、現代語訳している。 近体詩のきまりの基本を理解している。 それぞれの詩の詩形・押韻・対句を理解している。			
		5	《現代文》 『未来をつくる想像力』石田英敬	筆者の言いたいことの概略をつかんでいる。 「イメージの貧困」の原因を簡潔に説明している。 個人の「単独性」について理解している。 筆者が「社会」をどのようなものだと捉えているか読み取っている。 「タブラ・ラサ」の意義を理解し、まとめている。			
		4	『待つということ』角田光代	全体を通読して、現在部分と回想部分からなる構成を確認している。 叙述に即して情景や人物の様子を読み取り、対応関係を理解している。 「本当の大人」についての筆者の考えや思いを理解している。			
		5	《漢文》 『論語』『学ぶということ』 「人間を見つめる」	『論語』や孔子の人生に関心を示し、意欲的に取り組もうとしている。 訓点に従って、漢文を正確に読み、書き下している。 句法に注意して現代語訳している。 孔子や弟子たちの意図を読み取っている。 『論語』を典拠とした成語の意味を理解している。			
					〈中間考査〉		
三学期	4	《現代文》 『夢十夜』夏目漱石	両作品を通読して、非現実の世界であることを把握している。 「第一夜」前半から「女」の状況と要望について理解している。後半から「自分」と「女」の関係を読み取り、「百合」が意味するものを考え、言葉にしている。 「第六夜」の構成について把握している。前半から「運慶」の彫刻をする時の様子を読み取っている。後半から「仁王」を彫れないことが意味するものを理解している。				
	4	《古文》 「芥川」（伊勢物語）	歌物語という分野に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 出来事の推移を把握している。 男と女の境遇と出来事、心情を読み取っている。 助動詞や助詞に留意しながら、適切な現代語訳をしている。				
				〈学年末考査〉			
履修上の注意							
ノートは必ず準備すること（各学期ごとに検査を行う）。また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や状況に応じ、筋道を立てて話すことができる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。	漢字・語句・文法事項について正しい知識をもっている。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢 課題等の提出	行動観察 発言	ノートへの書き込み 定期考査	授業に取り組む姿勢 定期考査	定期考査 課題等の提出		

教科	国語	科目	国語総合	単位数	4	学年・コース	1年 アカデミック
教科書	『精選国語総合』東京書籍			担当者	藤島淳		
概要・ねらい	国語を的確に理解し、適切に表現する能力を養い、伝え合う力を高める。作品内容から思考力を伸ばし、自分の心情を豊かにする。国語の言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	5 5 5 5	《現代文》 随想『届く言葉』 評論『水の東西』 《古文》 古文入門 宇治拾遺物語「児のそら寝」	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品における、論理の展開や要旨を捉え、文章の内容を正しく理解できているか。</li> <li>論理的に考えることの面白さ、意義を捉えられているか。</li> <li>古文を繰り返し音読し慣れ親しみ、話の展開を理解し内容を把握しているか。</li> <li>古文の現代語訳の仕方を正しく理解できたか。</li> </ul> <p>(1学期中間考査)</p>			
		5 5 10	《現代文》 小説『城の崎にて』 評論『時間と自由の関係について』 《古文》 伊勢物語「芥川」	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代小説に親しみ、登場人物の心理描写を的確に読み取れているか。</li> <li>作品の要旨を把握し、筆者の考え方やものの捉え方を理解しているか。</li> <li>古語の意味、動詞の活用を理解しているか。</li> </ul> <p>(1学期期末考査)</p>			
	二学期	10 7 7 8 7 9	《現代文》 小説『羅生門』 《漢文》 訓読の基本 故事「矛盾」「推敲」 《現代文》 小説『富国百景』 評論『真の自立とは』 《漢文》 唐詩「春暁」「勸酒」「春望」 論語	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説の面白さを味わい、その主題と構想を理解しているか。</li> <li>小説を読む楽しさに気づき、読書への興味が深まったか。</li> <li>漢文を読む上での基礎的知識を身につけることができたか。</li> <li>漢文の訓読を学び、故事の意味を正しく理解しているか。</li> <li>太宰治の作品に触れ、その独特の感性を理解したか。</li> <li>作品の論旨を正しく理解できているか。</li> <li>漢文を正確に理解し、中国の人々の生き方について考えられたか。</li> <li>孔子の思想に触れ、自身の生き方を考えられているか。</li> </ul> <p>(2学期中間考査)</p> <p>(2学期期末考査)</p>			
三学期	7 5	《現代文》 小説『鏡』 評論『生物の多様性とは何か』	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の要旨、作者の表現方法を正しく理解したか。</li> <li>筆者独特の身体論を理解できたか。</li> </ul>				
	4 4	《古典》 竹取物語「天の羽衣」 平家物語「木曾の最期」	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌物語の特徴を理解し、作中の和歌を正しく理解できたか。</li> <li>平家物語特有の文章のリズム、語調を感じることもできたか。</li> </ul> <p>(学年末考査)</p>				
履修上の注意							
ノート・iPadは必ず準備すること。また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や状況に応じ、筋道を立てて話すことができる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。	漢字・語句・文法事項について正しい知識をもっている。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢 課題等の提出	行動観察 発言	ノートへの書き込み 定期考査	授業に取り組む姿勢 定期考査	定期考査 課題等の提出		

教科	国語	科目	基礎国語	単位数	1	学年・コース	1年・総合/体育
教科書	漢検協会「文章力ステップ(4級)」		担当者	藤島淳・岩崎真吾・飯島幸雄・和崎祐美子・遠藤明日香			
概要・目標	文章を書くために必要な要素である「情報を読み取る」「書く内容を作り上げる」「文章の構成を考える」「表現を選ぶ」「表記する」「推敲する」という一連のステップに関わる能力をそれぞれ向上させることで、読み手を納得させる文章が書けるようになることを目標とする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価			
	一学期	全11	<b>第1章 語彙・文法</b> 第1ステップ 語句の正しい意味 第2ステップ 語句の正しい用法 第3ステップ 文法的な正しさ <b>第2章 資料分析</b> 第1ステップ 円グラフ 第2ステップ 表 第3ステップ 折れ線グラフ 第4ステップ アクションプラン 第5ステップ 棒グラフ <b>第3章 文章読解</b> 第1ステップ 文脈における言葉の意味 第2ステップ 指示語・接続語をとらえる 第3ステップ 段落の要点をとらえる 第4ステップ 文・段落の役割をとらえる 第5ステップ 段落関係をとらえる 第6ステップ 文章の構成をとらえる 第7ステップ 要旨をとらえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>語句の意味を正しく理解できているか。</li> <li>表現方法を豊かにするために語彙を増やす。</li> <li>四字熟語や慣用句を正しく使う。</li> <li>文章の中で統計データを引用する知識を得る。</li> <li>統計データを読み取る練習をする。</li> <li>表やグラフから何を読み取るのかを知る。</li> <li>言葉の意味(語彙力)を身に付ける。</li> <li>言葉の言い換え表現を身に付ける。</li> <li>内容を正確に把握し指示語や接続語を捉える。</li> <li>意味内容のまとまりを把握する。</li> <li>段落関係を理解する。</li> <li>段落同士の結びつきを理解する。</li> <li>文全体の最も重要なポイントを見つけ出す。</li> </ul>			
	二学期	全12	<b>第4章 手紙文</b> 第1ステップ 手紙の形式を理解する 第2ステップ 手紙文の約束事をマスターする 第3ステップ 敬語の基本知識 第4ステップ 表現の順序を考えて整える 第5ステップ 推敲のポイントを見つける 第6ステップ 手紙文を書く <b>第5章 意見文</b> 第1ステップ 事実と意見を区別する 第2ステップ 事実を思い出すトレーニング 第3ステップ 意見文の構成を理解する 第4ステップ 意見文の事実を考える 第5ステップ 意見の述べ方のポイント 第6ステップ 意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙の形式の意味と書き方を理解する。</li> <li>頭語と結語の関係を把握し正しく使う。</li> <li>敬語を正しく理解し付けるようにする。</li> <li>文の順番が変わることで文脈が変わることを知る。</li> <li>自分で書いた文章を想定し推敲するポイントを把握する。</li> <li>実際に手紙を書いてみる。</li> <li>事実と意見を混同しないように気を付ける。</li> <li>実際に自分の記憶を思い出すステップを踏む。</li> <li>先に事実を述べ、あとで意見を述べる形式を理解する。</li> <li>意見に繋げやすい事実を理解する。</li> <li>読み手に対して正しく伝わる述べ方を把握する。</li> <li>実際に意見文を書いてみる。</li> </ul>			
	三学期	全5	<b>まとめ問題</b> まとめ問題答え合せ 文章読解・作成能力検定についての解説 <b>文章読解・作成能力検定の受験</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識が身についているか確認する。</li> </ul>			
履修上の心得と注意							
学習到達目標達成のために、各自が積極的かつ意欲的に授業に参加する必要があります。また授業の進行方法は解説及び板書が中心です、必ずノート及び三色以上の筆記用具を用意し書き留めて下さい。なお授業だけではなく読書が国語の力を向上させるには不可欠です。可能な限り多くの本を読み、自ら文章に触れるようにすること。							
評価観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解		
評価観点趣旨	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取りモノの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞き的確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への出席状況</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>論作文作成及び提出</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>課題等の提出</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>		

教科		国語		科目		現代文B		単位数		3		学年・コース		2年 総合, 体育	
教科書		『精選現代文B 改訂版』三省堂				担当者		岩崎真吾・藪田和弘・宮武桃子 和崎祐美子・遠藤明日香・門倉高之							
概要・目標		様々なカテゴリーの文章を読むことによりその中に展開される世界や日本の歴史に触れ、人間としてのバイタリティーを豊かにする授業を行う。また多様な表現に接して語彙を増やし、他とのコミュニケーションを円滑に行えるようにすることや、日本語の言語感覚を磨き思考力を豊かにすることに重点を置き、言語文化に対する関心を深めることを目標とする。													
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容					評価基準							
	一学期		随想『地球上の「旅人」』 ヤマザキマリ					想像力を働かせながら文章を読もうとしている。 論点の関係を捉えることで要旨を把握しながら文章を読んでいる。 文体やレトリックなど、表現の特色について理解を深めている。							
			随想『最初のペンギン』 茂木 健一郎					「最初のペンギン」が持つ意義について、考えを深めようとしている。 文章の内容から、筆者の考えを理解している。 主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。							
			小説『山月記』 中島 敦					文章の特色に注目することで内容の深い理解を目指そうとしている。 人物の心情の推移を把握しながら文章を読み取っている。 漢語的な表現や語句の意味についての理解を深めている。							
	二学期		評論『戦争の〈不可能性〉』 西谷 修					語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。 語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。							
			評論『スポーツとナショナリズム』 阿部 潔					「スポーツ」における「ナショナリズム」のあり方について、本文を通じて考えようとしている。 論理展開に注目し、筆者の考えを理解している。 主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。							
			評論『メディアと歴史』 若林 幹夫					語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。 語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。							
	三学期		評論『未来世代への責任』 岩井 克人					論点を整理しながら、自分の考えを表現しようとしている。 題材や材料、文の組立てに注意しながら、読み取っている。 語句の意味や用法の微妙な違いについて、理解を深めている。							
			小説『ころ』 夏目 漱石					表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。 情景や会話の描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。 作者の思想や作品について、理解を深めている。							
	履修上の心得と注意		学習到達目標達成のために、各自が積極的かつ意欲的に授業に参加する必要があります。また授業の進行方法は解説及び板書が中心です、必ずノート及び三色以上の筆記用具を用意し書き留めて下さい。なお授業だけではなく読書が国語の力を向上させるには不可欠です。可能な限り多くの本を読み、自ら文章に触れるようにすること。												
評価観点の趣旨と評価方法															
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解										
評価観点趣旨	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取りモノの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞き的確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。										
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート	・定期考査 ・論作文作成及び提出 ・ワークシート ・ノート	・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート ・ノート	・定期考査 ・課題等の提出 ・ワークシート ・ノート										

教科	国語		現代文B	単位数	4	学年・コース	2年 アカデミック文系
教科書	三省堂「高等学校現代文B」		担当者	宮武桃子			
概要・目標	近代以降の様々な文書を読むことを通して、読解力と思考力を養い、生徒の世界観を広げる授業を行う。また、自らの考えを論理的な文章で表現したり、他者に伝える力を身に付けるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する興味を深め、国語を尊重してその向上を図ることを目標とする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価			
	一学期	6	評論『文系と理系に壁はあるか』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などを理解する。</li> <li>・「文系と理系の壁」という問題を通じて、科学と人間の営みの関わり方について考える。</li> </ul>			
		8	小説『山月記』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短編小説の舞台設定、構成、文体の特徴をつかむ。</li> <li>・登場人物の人物像や心情の推移を的確に読み取る。</li> <li>・小説を自己問題に引きつけて味わう姿勢を養い、自己について考えを深める。</li> </ul>			
	一学期	7	小説『少年という名前のメカ』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物、情景、心情などを、どうして筆者がこのように描いているのか理解する。</li> <li>・内容をふまえ、「特許出願中。」という最後のフレーズに込められた意味について考える。</li> </ul>			
		6	評論『ミロのヴィーナス』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文の照応関係や文章構成についてなどの理解を深める。</li> </ul>			
		3	詩歌『パンの話』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩を効果的に朗読したり、それを聞きながら情景を的確にとらえる。</li> <li>・詩の中のことばを手掛かりにして、それぞれの詩にこめられた作者の思いを理解する。</li> </ul>			
	二学期	6	評論『ホンモノのおカネの作り方』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句の意味や用法の微妙な違いについて、理解を深める。</li> <li>・「おカネ」が「おカネ」であることの本質を理解し、身近な世界のあり方を捉え直す。</li> <li>・人類が営んできた環境への働きかけの経緯をふまえ、生態系への関わり方について考える。</li> </ul>			
		6	小説『夏の花』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを過不足なく読み取る。</li> </ul>			
		7	評論『忘れられる権利』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物の心情や情景を把握する。</li> <li>・原爆小説の代表作を読み、平和の意義について考える。</li> </ul>			
	二学期	6	評論『スポーツとナショナリズム』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えようとする。</li> <li>・スポーツとナショナリズムの関係性について理解する。</li> </ul>			
5		表現と実用の文章『報道の文章』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報道の文章の意図と特徴を理解する。</li> <li>・報道の文章における構成に基づいて自らの手で報告内容を編集することができる。</li> </ul>				
三学期	15	小説『こころ』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を深く読んで人間の精神のあり方、自己の生き方について考える。</li> <li>・友人Kとの関わりから生じる私の心の変化を場面展開に即してまとめる。</li> <li>・言葉の意味や表現に留意して文章を読み取り、表現効果や表現意図について考察する。</li> </ul>				
履修上の心得と注意							
学習到達目標を達成し、個々の能力を向上させるには、意欲的に授業に参加する必要があります。授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい。(各学期ごとに検査を行う)また、課題等も評価に影響するため、必ず提出して下さい。)							
評価観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解		
評価観点趣旨	文章の叙述を自主的に味わいながら読み、国語で伝え合う力を進んで高めようとする。	文章を的確に読み取り、主題や要旨を理解し、自身の考えを深めている。	相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	目的や場に応じて自分の考えを明確に話し、相手の意見を的確に聞き取ることができる。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。		
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート	・定期考査 ・論文作成及び提出 ・ワークシート ・ノート	・授業に取り組む姿勢 ・ワークシート ・ノート ・発言	・定期考査 ・課題等の提出 ・ワークシート ・ノート		

教科	国語		科目	現代文B	単位数	4	学年・コース	2年 アカデミック理系
教科書	三省堂「高等学校 現代文B 改訂版」			担当者	青田 竜童			
概要・目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価				
	一学期	6	評論『文系と理系に壁はあるか』	<ul style="list-style-type: none"> <li>「文系と理系の壁」という問題を通じて、科学と人間の営みの関わり方について考える。</li> <li>論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などを理解する。</li> </ul>				
		8	小説『山月記』	<ul style="list-style-type: none"> <li>短編小説の舞台設定、構成、文体の特徴をつかむ。</li> <li>登場人物の人物像や心情の推移を的確に読み取る。</li> <li>小説を自己問題に引きつけて味わう姿勢を養い、自己について考えを深める。</li> <li>漢語的な表現や語句の意味についての理解を深める。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(中間考査)</p>				
		7	小説『少年という名前のメカ』	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物や情景、心情などをどうして筆者がこうに書いているのか理解する。</li> <li>内容をふまえ、「特許出願中。」という最後のフレーズに込められた意味を考える。</li> </ul>				
		6	評論『ミロのヴィーナス』	<ul style="list-style-type: none"> <li>文の照応関係や文章構成についてなどについての理解を深める。</li> <li>「ミロのヴィーナス」に対する筆者の想いを読み取る。</li> </ul>				
	3	詩歌『パンの話』	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し音読することで、それぞれの作品世界の理解を深め、詩人たちの個性に触れる。</li> <li>描かれている情景を把握し、作者の思いを読み取る。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(期末考査)</p>					
	二学期	10	小説『夏の花』	<ul style="list-style-type: none"> <li>「私」の(手記)という表現形式をふまえ、「私」の体験した世界を想像力豊かに読む。</li> <li>文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。</li> <li>作品を深く理解し、現在平和に暮らしていることについて自己の考えをまとめる。</li> <li>片仮名で表記されていることから、筆者の思いやどのような効果をもたらすかを読み取る。</li> </ul>				
		6	評論『ホンモノのおカネの作り方』	<ul style="list-style-type: none"> <li>「おカネ」が「おカネ」であることの本質を理解し、身近な世界のあり方を捉え直す。</li> <li>語句の意味や用法の微妙な違いについて、理解を深める。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(中間考査)</p>				
		7	評論『忘れられる権利』	<ul style="list-style-type: none"> <li>「忘れられる権利」を巡る現状の問題点をふまえた上、今後のルールのあり方を考える。</li> <li>語句の意味や用法の微妙な違いについて、理解を深める。</li> </ul>				
		7	評論『スポーツとナショナリズム』	<ul style="list-style-type: none"> <li>「スポーツ」における「ナショナリズム」のあり方について、本文を通じて考える。</li> <li>スポーツとナショナリズムに関する筆者の意見を通じて、自分の考えを持つ。</li> </ul>				
3	表現と実用の文章『報道の文章』	<ul style="list-style-type: none"> <li>文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。</li> <li>報道の意図や表現の仕方について理解し、それを自分の編集作業に活用する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(期末考査)</p>						
三学期	15	小説『こころ』	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説の舞台背景を理解し、先生が自殺する動機を把握する。</li> <li>先生の心情の変化を読み取り、どのような葛藤があったかを理解する。</li> <li>Kが自殺に至るまでの心理を行動や発言から読み取る。</li> <li>近代の文章や文学の変遷を理解する。</li> <li>小説の世界を、想像力豊かに読み味わおうとする態度を身につける。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(学年末考査)</p>					
履修上の心得と注意								
授業を受ける際は、必ずノートを用意し、板書や説明を書き留めるようにして下さい(各学期ごとに検査を行う)。課題等も評価に影響するため、必ず提出して下さい。また、自らの考えを文字にするという課題を授業内で多く実施します。文章を書く習慣を身に付けるためにも、書くことを嫌がらずに積極的に取り組んで下さい。								
評価観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価観点趣旨	文章の叙述を自主的に味わいながら読み、国語で伝え合う力を進んで高めようとする。	文章を的確に読み取り、主題や要旨を理解し、自身の考えを深めている。	相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	目的や場に応じて自分の考えを明確に話し、相手の意見を的確に聞き取ることができる。	構成・文法を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への出席状況</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>論作文作成及び提出</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> <li>発言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>課題等の提出</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>			

教科	国語	科目	古典演習	単位数	2	学年・コース	2年 総合/選択者
教科書	『精選古典B 改訂版』 三省堂			担当者	藪田 和弘		
概要・ねらい	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	6	『古今著聞集』 「大江山」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句や表現に即して、説話の展開を読み取ろうとする</li> <li>・ 文章を通して、登場人物の行動の意味を読み取っている</li> <li>・ 和歌の修辞法について理解する</li> <li>・ 用言を中心に活用語の文法的知識を身につけている</li> </ul> (中間考査)			
		6	『宇治拾遺物語』 「小野篁, 広才のこと」				
		6	『伊勢物語』 「初冠」				
6		『大鏡』 「弓争い」					
二学期	25	儒家・道家の思想 ～論語・孟子・荀子・老子・荘子～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訓読に必要な知識・用法が身につけている</li> <li>・ 個々の相違点を意識しながら、儒家・道家の主張を理解しようとしている</li> <li>・ 簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取っている</li> <li>・ 基本的な句法・語法を理解している</li> </ul> (中間考査) (期末考査)				
三学期	7 7	『源氏物語』 「桐壺」 「若紫」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』をより深く知ろうとしている</li> <li>・ 登場人物の心情をそれぞれの場面に応じて読み取っている</li> <li>・ 基本的な助動詞の用法について理解している</li> <li>・ 基本的な敬語法について理解している</li> </ul> (学年末考査)				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中に感じた疑問などは、その場で質問してください。</li> <li>・ 課題・提出物などは期限内に必ず提出してください。</li> </ul>						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度		読む能力		知識・理解		
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。		文章の内容を文法的な力を身につけることを中心に的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。		語彙・文語文法・文学史等について正しい知識と力をもっている。訓読に必要な句法・語彙を身につけているか。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢		授業に取り組む姿勢 課題等の提出		定期考査 小テストの実施 課題等の提出		

教科	国語	科目	古典	単位数	3	学年・コース	2年 アカデミック文系
教科書	『高等学校古典B古文編』 『高等学校古典B古文編』東京書籍		担当者	藤島 淳			
概要・ねらい	それぞれの作品に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などにふれ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。また、1年次までの学習をふまえ、文法力、語彙力、読解力等を深めつつ、作品に主体的な取り組みができる力を養う。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	4	《説話》 『宇治拾遺物語』「小野篁、広才のこと」 『古今著聞集』「小大進、北野の神助を被ること」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説話の内容を正しく理解できたか。</li> <li>・動詞、助動詞の用法、係り結びなど文法範囲を理解できたか。</li> </ul>			
		4			《物語》『伊勢物語』「初冠」 「月やあらぬ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌物語の特徴を味わうことができたか。</li> <li>・形容詞の用法、活用の仕方等を理解できたか。</li> </ul> <b>【中間考査】</b>	
		10	《物語》『竹取物語』「かぐや姫の昇天」 《物語》『大鏡』「雲林院の菩提講」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法的裏付けを持って、正しく口語訳できているか。</li> <li>・物語の内容を的確に捉えているか。</li> <li>・敬語の用法、敬意の方向など文法範囲を理解できたか。</li> </ul> <b>【期末考査】</b>			
6							
二学期	18	《思想》 論語 孟子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの思想家の考えを正しく理解できたか。</li> <li>・当時の時代、国の状況を理解した上で、それぞれの思想を理解できたか。</li> </ul> <b>【中間考査】</b>				
	18	《史伝》 『史記』「鴻門之会」 「四面楚歌」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しく訓読した上で、内容、登場人物を理解できたか。</li> <li>・多くの登場人物の人間関係、それぞれの特徴を正しく捉えたか。</li> </ul> <b>【期末考査】</b>				
三学期	15	《物語》『平家物語』 「忠度の都落ち」 「能登殿の最期」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平家物語特有の硬質な文章を理解できたか。</li> <li>・平家物語の描く時代背景、登場人物を理解したか。</li> </ul> <b>【学年末考査】</b>				
履修上の注意	ノートは必ず準備すること。(各学期ごとに検査を行う) また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度		読む能力		知識・理解		
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。		文章の内容を文法的な力を身につけることを中心に的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。		語彙・文語文法・漢文訓読・文学史等について正しい知識と力をもっている。		
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢		授業に取り組む姿勢 課題等の提出		定期考査 課題等の提出		



教科	国語		科目	国語演習	単位数	4	学年・コース	2年体育アスリート
教科書	桐原書店『現代文アチーブ2』			担当者	門倉高之・宮武桃子			
概要・目標	読解力・記述力・要約力を養成し、現代文の基礎的知識を高める。文章の要約を中心に行い、演習問題を解きながら漢字・語彙の確認を行う。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価				
	一学期		評論・随想・小説・俳論 ・鷺田清一 ・松村寿輝 ・群ようこ ・小林紀勢 ・米原万里 ・加藤幸子 ・河野哲也 ・寺田寅彦 ・南木佳士 ・加藤楸邨	※各学期共通 ・文章を読み解く基礎的な力を身に付けるために、漢字・語彙の確認や段落要旨など問題を解く前の知識を固める。また、評論だけではなく、様々なジャンルの文章を演習することで文章力を身に付ける。  1. 読解力を養成する ・論理的に読むための着眼点を学習する。 ・意味段落に分け、文章構成を意識して読む。 ・場面・人物・心情をつかむ。 ・漢字・語彙の基礎的知識を確認する。  2. 記述力を養成する ・設問の意図や本文のどこに着目するか理解する。 ・各設問で、正解に導くための注目点を確認する。 ・問いかけに合うよう自分で文章をまとめる力をつける。  3. 要約力を養成する ・要約ノートを用い、演習前に要約を行う。				
			二学期					
	三学期	評論・随想・小説・俳論 ・本田和子 ・羹尚中 ・多和田葉子 ・伊藤整 ・川田順造 ・港千尋 ・福永武彦 ・田中克彦 ・渡辺裕 ・吉見俊哉 確認問題100本ノック						
				※各学期(中間考査)  ※各学期(期末考査)  ※3学期(学年末考査)				
履修上の心得と注意								
・必ず要約を行ってから演習に取り組むことで、要約力をつける。 ・予習復習を行い、意味調べなど積極的に取り組む。 ・答え合わせの際は、結果だけではなくその過程を重視し、正解率を高める。								
評価観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価観点趣旨	様々な問題に対応するために積極的に問題に取り組む。	・論理的に読むための着眼点を学び、習得する。 ・主題をとらえる力を養う。	文章の要約を行うことで、構成がしっかりとした文章を書く力を身につける。	・解法に関する質疑応答をすることで解答力と理解力を高める。	頻度高く出てくる語句は、確認することで文章理解に役立つ知識を身につける。			
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・問題演習	・定期考査 ・問題演習	・授業に取り組む姿勢	・定期考査 ・課題等の提出 ・問題演習			

教科	国語		科目	現代文B	単位数	総合4/体育3	学年・コース	3年 総合, 体育
教科書	明治書院「高等学校 現代文B」		担当者	庄司剛・岩崎瑠莉恵・青田竜童・遠藤明日香・門倉高之				
概要・目標	様々なカテゴリーの文章を読むことによりその中に展開される世界や日本の歴史に触れ、人間としてのバイタリティーを豊かにする授業を行う。また多様な表現に接して語彙を増やし、他とのコミュニケーションを円滑に行えるようにすることや、日本語の言語感覚を磨き思考力を豊かにすることに重点を置き、言語文化に対する関心を深めることを目標とする。							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価				
	一学期	6	随想『はじめての失敗』	<ul style="list-style-type: none"> <li>随想を読み、新たなものの見方を知る。</li> <li>筆者のはじめての失敗の内容をまとめる</li> <li>抽象的な用語や概念を正確につかみ、内容を深く理解する。</li> <li>言葉と言葉が指し示すものとの関係について説明の用語を把握し読み解く。</li> <li>出会いがどのように人生に深く関わることがあるか表現に注意して読解する。</li> <li>「絵はすべての人の創るもの」と読み比べて、その共通点を話し合う。</li> </ul> (1学期中間考査)				
		6	評論『言葉を理解する』					
		6	随想『おまえはどこに立っている』					
	一学期	6	評論『小説とは何か』	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論の文章について具体例に沿った論の展開の仕方を学ぶ。</li> <li>小説が言葉を現実化することに本質があるということについてまとめる。</li> <li>長い評論の文章について、論の組み立て方や要旨を的確に捉える。</li> <li>日本の伝統芸能の本質について、文意に沿ってまとめる。</li> <li>明治期の随想を読み、現代にも通じるものの見方を知る。</li> <li>サフランの姿と「私」の「水をやる」行為との対比をまとめる。</li> </ul> (1学期期末考査)				
		6	評論『あるいは「風」について』					
6		随想『サフラン』						
二学期	6	評論『物の見えたる光』	<ul style="list-style-type: none"> <li>長めの評論文を読み引用文の効果的な使い方を学び要旨を的確に捉える。</li> <li>ジャヴェルの言葉と引用されている芭蕉の俳句との共通点を掴む。</li> <li>人間、社会、自然などについて問題意識を持ち、自己の考えを深める。</li> <li>世間をめぐる筆者の批判意識を明らかにし新たな社会関係への展望を探る。</li> <li>小説の舞台設定や人物関係の特徴を掴む。</li> <li>個々の場面のエピソードの意味を全体の流れからとらえる。</li> </ul> (2学期中間考査)					
	6	評論『「世間」とは何か』						
	6	小説『博士の愛した数式』						
	12	評論『私の個人主義』						
二学期	4	四字熟語	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の言う「個人主義」について正確に理解する。</li> <li>評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>成り立ちの背景やその意味をしっかりと理解する。</li> <li>日常生活で使用できるように例文を作成する。</li> </ul> (2学期期末考査)					
三学期			3学期は授業を行いません					
履修上の心得と注意								
学習到達目標達成のために、各自が積極的かつ意欲的に授業に参加する必要があります。また授業の進行方法は解説及び板書が中心です、必ずノート及び三色以上の筆記用具を用意し書き留めて下さい。なお授業だけではなく読書が国語の力を向上させるには不可欠です。可能な限り多くの本を読み、自ら文章に触れるようにすること。								
評価観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価観点趣旨	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取りモノの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞きの確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への出席状況</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>論作文作成及び提出</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>課題等の提出</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>			

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	『精選現代文B』明治書院			担当者	岩崎 瑠莉恵		
概要・ねらい	1. 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。 2. 近代以降の様々な文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 3. 進んで表現し読書することによって国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	全40	「異文化理解」  「猫は後悔するか」  「檸檬」  「グローバリゼーションの光と影」	<ul style="list-style-type: none"> <li>異文化理解の困難さを前提に、どのようにすれば理解が可能なのか、異文化理解を行う上で注意点は何かを主体的に考えようとしている。</li> <li>本文の構成を把握し、異文化理解の難しさがどのような点にあるのかを読み取っている。</li> <li>本文中の具体例の解析を行うことで、異文化のコミュニケーションはどのような局面が難しいかを理解している。</li> <li>本文読解の中で、筆者の示した新しい世界観・言語観について関心をもとうとしている。</li> <li>筆者による用語の紹介や例示を理解し、内容把握に役立てることができている。</li> </ul> <p>(1学期中間考査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「私」の心理的な推移について理解しようとしている。</li> <li>「私」の特徴的な感覚について理解している。</li> <li>表現上の特色を把握し、作品の深い理解へ進めている。</li> <li>作者である梶井基次郎についての知識を身につけている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバリゼーションとナショナリズムの関係を巡る筆者の考え方を、本文全体の論理の展開に即して正しくつかんでいる。</li> <li>概念的、抽象的な議論を歴史の知識に基づいた具体的な事例に結び付けて理解している。</li> </ul> <p>(1学期期末考査)</p>			
	二学期	全46	「釣りのハイパー・セミアティクス」  「〈読み〉の楽しみ」  「私の個人主義」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自然との共生」について、自分の意見を伝えようとしている。</li> <li>表題の意図するところを押さえている。</li> <li>「コード横断」とはどのようなことかを的確に把握している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身の読書体験を振り返り、この文章や筆者の理解に役立てようとしている。</li> <li>「読む」という行為について、本文の読解を通してより深く理解できている。</li> <li>筆者が述べる「読む・書く」さらに「知る」ことの楽しみを理解できている。</li> </ul> <p>(2学期中間考査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の問題意識に興味・関心をもとうとしている。</li> <li>前半と後半の要旨をそれぞれ正確に把握し、筆者の言う「個人主義」について理解できている。</li> <li>表現上の特色を理解している。</li> <li>筆者である夏目漱石について既習事項をもとにして更なる知識を身につけることができている。</li> </ul> <p>(2学期期末考査)</p>			
三学期		3学期は授業を行いません					
履修上の注意							
ノートは必ず準備すること(各学期ごとに検査を行う)。また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
評価の観点	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度)</li> <li>記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度)</li> <li>記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記述の確認(ノート、プリント、ワークシート、レポート・感想文などの作成した文章)・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動の観察(学習活動における発言内容や態度)</li> <li>記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動の観察(学習活動における発言内容や態度)</li> <li>記述の確認(ノート、プリント、ワークシート)</li> <li>定期考査</li> </ul>		

教科	国語	科目	現代文	単位数	3	学年・コース	3年 アカデミック理系
教科書	明治書院「精選 現代文B」			担当者	庄司 剛		

**概要・目標**  
 様々なカテゴリーの文章を読むことによりその中に展開される世界や日本の歴史に触れ、人間としてのバイタリティーを豊かにする授業を行う。また多様な表現に接して語彙を増やし、他とのコミュニケーションを円滑に行えるようにすることや、日本語の言語感覚を磨き思考力を豊かにすることに重点を置き、言語文化に対する関心を深めることを目標とする。

年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価
	一学期	6	6	評論「グローバリゼーションの光と影」
6		6	評論「異文化理解」	
6		6	評論「猫は後悔するか」	
一学期	10	10	小説「ころ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>長編小説の展開を丁寧に追って作品の主題に迫る。</li> <li>作品を深く読んで人間のあり方についての問題意識をつかむ。</li> <li>友人Kとの関わりから生じる私の心の変化を場面展開に即してまとめる。</li> <li>人間のあり方について問題意識を深め登場人物の生き方について話し合う。</li> <li>「であること」と「すること」との対比を通して近代社会の原理をつかむ。</li> <li>日本の近代の「混乱」について筆者の見方をまとめ、意見を出し合う。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(1学期期末考査)</p>
	5	5	評論『「である」ことと「すること」』	
二学期	10	10	小説「舞姫」	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代背景、舞台を踏まえ出来事の経過を追って登場人物の内面を整理する。</li> <li>近代文語文の表現の特徴をつかむ。</li> <li>近代化の過程での国家と個人の関わりについて考え、登場人物が負わなければならなかった課題を明らかにする。</li> <li>登場人物の生き方について感想や意見をまとめ、発表する。</li> <li>評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>筆者の「群衆」のとらえ方の特徴を明らかにする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(2学期中間考査)</p>
	4	4	評論「群衆の顔」	
	4	4	評論『「名づけ」の精神史』	
二学期	10	10	評論『私の個人主義』	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> <li>現代日本の精神風土についての関心を深める。</li> <li>筆者の言う「個人主義」について正確に理解する。</li> <li>評論の文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(2学期期末考査)</p>
授業は行わない				

**履修上の心得と注意**  
 学習到達目標達成のために、各自が積極的かつ意欲的に授業に参加する必要があります。また授業の進行方法は解説及び板書が中心です、必ずノート及び三色以上の筆記用具を用意し書き留めて下さい。なお授業だけではなく読書が国語の力を向上させるには不可欠です。可能な限り多くの本を読み、自ら文章に触れるようにすること。

**評価観点の趣旨と評価方法**

各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解
評価観点趣旨	文章の中に広がる世界への関心を深め様々な問題から意欲的に自己を追求する。	文章の中に表現された思想や感情を読み取りモノの見方や感じ方を豊かにする。	考えをまとめ相手や目的に応じ筋道立てて適切に文章を書くことを身につける。	自分の考えを明確に話すと同時に相手の話を聞きの確に捉えることを習得する。	構成・文法・音声・語句・表記・漢字を理解し文章読解に役立つ知識を身につける。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への出席状況</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>論作文作成及び提出</li> <li>ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>ワークシート</li> <li>ノート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>課題等の提出</li> <li>ノート</li> </ul>

教科	国語	科目	古典演習	単位数	2	学年・コース	3年 総合文系
教科書	『精選古典B』東京書籍		担当者	岩崎 瑠莉恵・和崎 祐美子			
概要・ねらい	1. 古典としての古文を読む能力を養う。古典としての漢文を詠む能力を養う。 2. 様々な古典を読むことによって、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。 3. 古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	10	『十訓抄』『博雅の三位と鬼の笛』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的短く、話が具体的で展開の分かりやすい説話を読み、古文に親しもうとしている。</li> <li>・場面状況と登場人物の行動や心情を把握し、話の展開を理解する。</li> <li>・助動詞の意味を理解する。</li> <li>・指示語の内容を確認する。</li> </ul> <p>(1学期中間考査)</p>			
		10	『源氏物語』『小柴垣のもと』(紫式部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『源氏物語』の概要を理解しようとしている。</li> <li>・登場人物の行動や心情を読み取り、物語の面白さを味わおうとしている。</li> <li>・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。</li> <li>・最高敬語や補助動詞の敬語について理解する。</li> </ul> <p>(1学期期末考査)</p>			
	全20						
二学期	6	『西京雑記』『王昭君』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的短く、話が具体的で展開の分かりやすい説話を読み、漢文に親しもうとしている。</li> <li>・本文を訓点に従って音読し、書き下し文に改めている。</li> <li>・重要な句形について理解している。</li> </ul>				
	6	【思想】孟子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸子百家の人間観や思想を理解しようとしている。</li> <li>・諸子百家が生み出された社会的な状況を理解しようとしている。</li> <li>・比喩や具体例などを用いた、説得力のある論述の方法を読み取っている。</li> <li>・本文を訓点に従って音読し、書き下し文に改めている。</li> </ul> <p>(2学期中間考査)</p>				
	4	『莊子』『夢為蝴蝶』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦国時代に活躍した思想家が用いた巧みな寓話を読み、その面白さを味わおうとしている。</li> <li>・思想家の主張を整理して、中国思想への理解を深めようとしている。</li> <li>・比喩や具体例を用いた文章の論理を読み取っている。</li> </ul>				
7	『搜神記』『死友』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長編の中国古典小説を読み、不思議な物語の世界を味わい、漢文に親しもうとしている。</li> <li>・文章を読んで、読解力を養っている。</li> <li>・登場人物の行動から、その性格を考え、読み取ることができている。</li> </ul> <p>(2学期期末考査)</p>					
全24							
三学期	3学期は授業を行いません						
履修上の注意	ノートは必ず準備すること(各学期ごとに検査を行う)。また、課題等の提出物は評価に影響するので必ず提出すること。						
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度		読む能力		知識・理解		
評価の観点	古典を読む力を進んで育てるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。		古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして自分の考えを深め、発展させている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まりなどの理解を深め、知識を身に付けている。		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み姿勢</li> <li>・予習・復習と課題の提出</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・応答と発問</li> <li>・予習・復習と課題の提出</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト・定期考査の成績応答と発問</li> <li>・応答と発問</li> <li>・予習・復習と課題の提出</li> </ul>		

教科	国語	科目	古典	単位数	3	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	『精選古典B』 明治書院		担当者	藪田 和弘			
概要・ねらい	古文では、それぞれの作品に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などにふれ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。また、1年次までの学習をふまえ、文法力、語彙力、読解力等を深めつつ、作品に主体的な取り組みができる力を養う。 漢文では、訓読に必要な句法・語彙を確認し読解力等を深める。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	6	【古文】 《歴史物語》 『大鏡』 「道長の左遷」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の展開（主語の把握を含む）を的確に捉えている</li> <li>・文法的裏付けを持って、正しく口語訳できている →用言、助動詞の用法、係り結びなどの文法事項</li> <li>・敬語の用法、敬意の方向など文法範囲を理解できている</li> </ul> <p style="text-align: right;">【中間考査】</p>			
		6	《物語》 『源氏物語』 「車争ひ」				
		12	【漢文】 「句法」 否定形・使役・受身・疑問・反語 感嘆・仮定・比較・比況・選択・限定 累加・抑揚・願望・倒置		<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓読に必要な句法を身につけ、正しい解釈ができる</li> </ul> <p style="text-align: right;">【期末考査】</p>		
二学期	6	【古文】 《日記》 『更級日記』 門出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容を的確に捉えているか。</li> <li>・修辞技法を理解した上で和歌に表現された登場人物の心情をとらえることができるか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【中間考査】</p>				
	6	『蜻蛉日記』 町の小路の女					
二学期	1 2	【漢文】 《史話》 『史記』 ・灑池之会 ・勿頸之交 《小説》 『陽羨鵝籠記』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な句形を理解し、書き下し文に改めることができる</li> <li>・登場人物の行動や信条を読み取り、物語の場面を読み味わうことができるか。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【期末考査】</p>				
		三学期	3学期は授業を行いません				
履修上の注意							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	読む能力		知識・理解			
評価の観点の趣旨	作品の登場人物や場面を想像力を働かせながら読み、読解、鑑賞を深めようとしている。	文章の内容を文法的な力を身につけることを中心に的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。		語彙・文語文法・文学史等について正しい知識と力をもっている。訓読に必要な句法・語彙を身につけているか。			
評価方法	授業への出席状況 授業に取り組む姿勢	授業に取り組む姿勢 課題等の提出		定期考査 小テストの実施 課題等の提出			

教科	国語		科目	国語演習	単位数	3	学年・コース	3年 総合、体育/選択者
教科書	『改訂版 よむナビ 現代文①基礎編』いいずな書店 『改訂版 よむナビ 古典①基礎編』いいずな書店			担当者	青田竜童・飯島幸雄・和崎祐美子・遠藤明日香			
概要・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代文読解で重要なポイントを読み取り、書き込みをすることで論理的な理解をも促す。それを反復して行うことで習慣化させ、問題を解く際に活かせるようにする。</li> <li>本文に書き込みながら文法、語句、主語や指示語をおさえる。また、丁寧に口語訳することで作品ごとの時代背景を捉え、古文を読む力を身につけていく。</li> </ul>							
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	活動・評価				
	一学期	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代文 1課(評論)～4課(評論)</li> <li>古文 1課(説話)～4課(説話)</li> </ul>	(評論)・話題、問題提起、文章の展開、構成、筆者の主張をおさえることができたか。 (小説)・設定、登場人物の心情とその変化、場面の展開、主題をおさえることができたか。 ・筆者の表現に注目できたか。 (随想)・話題、場面の展開、具体的な体験、見聞をおさえることができたか。 ・体験、見聞に対する筆者の感想、考えをおさえることができたか。 ・重要語の意味、文法事項、文章の内容的な切れ目、や省略された内容をおさえられたか。 ・会話や動作の主語、指示語がさす内容をおさえることができたか。 ・作者の言いたいこと、文体、修辭などの特徴をおさえることができたか。 (中間考査)				
		15	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代文 5課(評論)～8課(小説)</li> <li>古文 5課(随筆)～8課(日記)</li> </ul>	(評論)・話題、問題提起、文章の展開、構成、筆者の主張をおさえることができたか。 (小説)・設定、登場人物の心情とその変化、場面の展開、主題をおさえることができたか。 ・筆者の表現に注目できたか。 (随想)・話題、場面の展開、具体的な体験、見聞をおさえることができたか。 ・体験、見聞に対する筆者の感想、考えをおさえることができたか。 ・重要語の意味、文法事項、文章の内容的な切れ目、や省略された内容をおさえられたか。 ・会話や動作の主語、指示語がさす内容をおさえることができたか。 ・作者の言いたいこと、文体、修辭などの特徴をおさえることができたか。 (期末考査)				
	二学期	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代文 9課(評論)～12課(評論)</li> <li>古文 9課(説話)～12課(随筆)</li> </ul>	(評論)・話題、問題提起、文章の展開、構成、筆者の主張をおさえることができたか。 (小説)・設定、登場人物の心情とその変化、場面の展開、主題をおさえることができたか。 ・筆者の表現に注目できたか。 (随想)・話題、場面の展開、具体的な体験、見聞をおさえることができたか。 ・体験、見聞に対する筆者の感想、考えをおさえることができたか。 ・重要語の意味、文法事項、文章の内容的な切れ目、や省略された内容をおさえられたか。 ・会話や動作の主語、指示語がさす内容をおさえることができたか。 ・作者の言いたいこと、文体、修辭などの特徴をおさえることができたか。 (中間考査)				
		16	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代文 13課(小説)～16課(評論)</li> <li>古文 13課(説話)～15課(物語)</li> </ul>	(評論)・話題、問題提起、文章の展開、構成、筆者の主張をおさえることができたか。 (小説)・設定、登場人物の心情とその変化、場面の展開、主題をおさえることができたか。 ・筆者の表現に注目できたか。 (随想)・話題、場面の展開、具体的な体験、見聞をおさえることができたか。 ・体験、見聞に対する筆者の感想、考えをおさえることができたか。 ・重要語の意味、文法事項、文章の内容的な切れ目、や省略された内容をおさえられたか。 ・会話や動作の主語、指示語がさす内容をおさえることができたか。 ・作者の言いたいこと、文体、修辭などの特徴をおさえることができたか。 (期末考査)				
三学期			3学期は授業を行いません					
履修上の心得と注意								
ワークに必ず書き込むこと(定期考査ごとに検査を行う)。また、問題演習がメインとなる授業のため、問題さえ解けばいいという態度を取る者に対しては厳しい指導、評価をするつもりなので真摯な態度で授業に臨むこと。								
評価観点の趣旨と評価方法								
各観点	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	話す・聞く能力	知識・理解			
評価観点趣旨	様々な分野の文章に対し積極的に理解しようという姿勢を持ち、読解、鑑賞を深めようとしている。	文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、主題や要旨を理解できる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて話すことができる。	漢字・語句・文法事項について正しい知識をもっている。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への出席状況</li> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>課題等の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に取り組む姿勢</li> <li>定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>ワークへの書き込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>発言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>課題等の提出</li> </ul>			

教科	国語		科目	国語演習	単位数	4	学年・コース	3年 アカデミック文系
教科書	『読み解く古典3』論読 現代文3』浜島書店			担当者	宮武桃子			
<b>概要・目標</b>		現代文・古典と共に、入試に必要な解答力を高める。						
<b>年間授業計画</b>	<b>学期</b>	<b>配当時間</b>	<b>学習内容</b>	<b>活動・評価</b>				
	一学期		評論 計18題 ・鷺田清一 ・西村清和 ・隈研吾 ・山崎正和 ・遠藤周作 ・小川仁志 ・檜垣立哉 ・若林幹夫 ・野平一郎	※各学期共通 ・現代文では、評論文を中心に選択・記述の問題をバランス良く演習することで文章力を高める。 ・古典では、古文と漢文をバランスよく演習することで様々な問題に対応する力を身につける。  1. 読む力をつける ・論理的に読むための着眼点を学習する。 ・意味段落に分け、文章構成を意識して読む。 ・場面・人物・心情をつかむ。 ・構成メモを用いて百字にまとめる。				
			・安部龍太郎 ・池内了 ・高階秀爾 ・港千尋 ・浅田次郎 ・大橋良介 ・養老孟司 ・高浜虚子 ・桑子敏雄					
	二学期		古文15題 漢文12題 ・大鏡 ・花月草紙 ・讃岐典侍日記 ・更級日記 ・うたたね ・増鏡 ・玉勝間 ・住吉物語 ・平家物語 ・かざしの姫君 ・俊頼髓脳 ・春のみやまぢ ・落窪物語 ・源氏物語 ・大和物語	2. 解く力をつける ・設問の意図や本文のどこに着目するか理解する。 ・各設問で、正解に導くための注目点を確認する。  3. 語彙力をつける ・テキスト内の問題で用いられている語句を中心に、語彙力を確認する。				
		・貞観政要 ・史記 ・搜神後記 ・答陳商書 ・莊子 ・与微之書 ・小学 ・蒙求 ・世説新語 ・漢書 ・列女伝 ・新語 ・後漢書	※各学期(中間考査)  ※各学期(期末考査)					
三学期		3学期は授業を行いません						
<b>履修上の心得と注意</b>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代文・古典とバランスよく問題数をこなすことで多角的に考察する力を養う。</li> <li>・予習復習を行い、意味調べなど積極的に取り組む。</li> <li>・答え合わせの際は、結果だけではなくその過程を重視し、正解率を高める。</li> </ul>								
<b>評価観点の趣旨と評価方法</b>								
<b>各観点</b>	<b>関心・意欲・態度</b>	<b>読む能力</b>	<b>書く能力</b>	<b>話す・聞く能力</b>	<b>知識・理解</b>			
<b>評価観点趣旨</b>	様々な入試問題に対応するために積極的に問題に取り組む。	・論理的に読むための着眼点を学び、習得する。 ・主題をとらえる力を養う。	文章の要約を行うことで、構成がしっかりとした文章を書く力を身につける。	・解法に関する質疑応答をすることで解答力と理解力を高める。	頻度高く出てくる語句は、確認することで文章理解に役立つ知識を身につける。			
<b>評価方法</b>	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期考査 ・問題演習	・定期考査 ・問題演習	・授業に取り組む姿勢	・定期考査 ・課題等の提出 ・問題演習			